

成果の説明書

(氏名) 谷川卓	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>現代形而上学には、ヒューム主義と特徴づけることのできる一つの潮流がある。現在進めているのは、個別の問題に取り組みながら、ヒューム主義的な形而上学が具体的にどのような形をとるのかを追求する研究である。今年度はそのうち、自然法則の様相的身分にまつわる問題にヒューム主義的形而上学の観点からアプローチした研究について論文を公表することができた。</p> <p>論文等</p> <p>1. 「自然法則の様相的身分」『科学基礎論研究』47(1), 1-13, 2019年</p> <p>研究発表</p> <p>1. 「哲学の研究によって何が明らかになるのか：因果性の哲学を題材に」高崎経済大学経済学会研究会, 2019年7月17日</p> <p>【教育活動】</p> <p>「哲学」「倫理学」「論理学」「日本語リテラシーI・II」「基礎演習」を担当。講義科目では、小テストや授業内レポートを実施し、受講学生に講義内容についてあらためて自分で考えてもらうように努めた。演習科目では、まずは哲学の議論に慣れてもらうことを目的として、入門書を読みつつディスカッションを行った。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>【社会活動】</p> <p>ラジオ高崎「ラジオ・ゼミナール」出演, 2019年9月6日および2019年9月13日放送</p> <p>【学会活動】</p> <p>論文査読1件</p> <p>【学内】</p> <p>日本語部会 教養教育委員 高崎経済大学経済学会理事 昇任人事業績評価委員</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>ヒューム主義的形而上学を追求する研究に引き続き取り組む。</p> <p>教育面では、授業の効果的な進め方について検討する。とくに次年度は、どのように小テストや小レポートを実施するのが効果的かを検討して、授業の改善に努めたい。</p>	